

会 議 速 報

平成 27 年 7 月 28 日

件 名	平成 27 年度第 1 回鹿児島市船舶事業経営審議会	作 成 課	船舶局総務課
日 時	平成 27 年 7 月 14 日(火) 14:00~15:30		
場 所	桜島港フェリーターミナル 3 階大会議室		
出 席 者	経営審議会委員 9 名 (欠席者なし)		
市出席者	船舶局長、次長、営業課長、船舶運航課長、関係職員		
協議・報告等	審議事項 (1) 平成 27 年度船舶事業特別会計予算について (2) 2015 桜島納涼観光船について ほか		
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 27 年度に予定している新船活用ロングクルーズ事業について、コースなどはどのようにして決めるのか。また、料金は錦江湾魅力再発見クルーズと比べると高いのではないかと考えている。 <ul style="list-style-type: none"> → ロングクルーズは企画コンペによりコースを決めることになっている。料金については、経済局との共同運航となっている錦江湾魅力再発見クルーズと異なり、ロングクルーズは船舶局の独自事業となっており、定期運航の 15 分、160 円を基本に、4 時間運航に換算して、大人 2,500 円の金額を設定した。異なる価格構成となるが、料金相応に楽しんでいただける内容となるようにしていく必要があると考えている。 ○ 第十三桜島丸の売却についてはどのようにしているのか。保有を続けることにより経費が生じるのではないかと考えている。 <ul style="list-style-type: none"> → 5 隻保有となると、中間検査や貸切船運航などの際に、1 隻機関故障がでると定期便の運航に支障が生じるため、第十三桜島丸を、当面、保有することとした。第十三桜島丸を利用者の少ない平日の深夜便に活用することにより、他の大型船舶と比べ燃料消費の縮減につながっている。また、納涼観光船の運航時期に貸切船を活用しやすくなるなどの効果もあり、コスト的にも相殺している。 ○ 桜島港フェリー施設整備事業の工事の進捗状況はどのようにしているのか。また、資材や人件費の高騰などの影響により、当初の見込みと比べ経費がかかることになるのではないかと考えている。 <ul style="list-style-type: none"> → 第 1 期工事について若干遅れが生じており、現在、地質調査などを行っているが、平成 30 年度の完成というところについてはこれまでどおりである。 経費については、物価の増の一方で、入札で安くついたものがあり、当初の見込額内に抑えたいと考えているが、全体の工期中、消費税率が 2 回引上げされ、増える傾向にあることから、国庫補助金の活用について、市と連携して取り組むなど努力している。 ○ 「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されたほか、国民文化祭や鹿児島マラソンなどが開催されるが、桜島フェリーもこれにあわせた取り組みの予定があるのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 世界遺産登録を受けて新たなクルーズを運航するなどの具体的な取り組みは行っていないが、フェリーの利用客を増やすことのできる要素が増えたものと考えている。市長事務部局との連携により入込客を増やして桜島フェリーに乗っていただくような仕掛けを考えていきたい。 ○ 納涼観光船について、県外の方にもっと知ってもらうこととあわせて、海外の方々についても鹿児島空港に上海便など 4 路線ある。台湾からお客様が団体で来るパターンが多いことから、パンフレットを工夫するなどして対応に取り組んでみてはどうか。 		